

平成 26 年度事業計画書

関西・大阪 21 世紀協会は創立 30 周年を経過し、いま新しい第 3 のステージを迎えることになりました。最初の 20 年間は全国的にも例のない「大阪 21 世紀計画」を推進し、大阪城築城 400 年まつりにはじまり、花と緑の博覧会、関西国際空港開港、国際会議場の建設など、大きなプロジェクトをヤマ場方式で推進して参りました。

21 世紀に入ってから 10 年は水都大阪運動の推進に尽力してきました。府・市・経済界のみならず、市民やアーティストの協力のもと、水都大阪 2009 がシンボルイベントとして開催されました。中之島の川辺の風景はこの 10 年でのビフォー・アフターがはっきりした成果を示しています。

これからの、第 3 ステージとして本年度より、日本万国博覧会記念機構から基金事業を承継することになりました。また、経済 3 団体と協力し、民間版のアーツカウンシル「アーツサポート関西」を立ち上げることとなりました。これにより文化を通じて国際的な相互理解を深めていくことや、文化振興のための助成活動や支援活動を、新たな協会事業の柱に加えることとなりました。

平成 26 年度、関西・大阪 21 世紀協会は 30 年にわたる文化立都の理念とネットワークを活かし、次の 3 つの事業を柱に、文化立国の視点も加えて新たな歴史の一步を踏み出します。

- ① 国際相互理解の促進と文化振興のための助成・支援
 - ➡日本万国博覧会記念基金事業、アーツサポート関西、アーティスト支援
- ② 伝統と創造
 - ➡コラボレーションによるまちづくり、無形文化財の保護・育成
- ③ 発掘と発信
 - ➡広域的国際的文化力会議の開催、関西ブランド発信、調査研究・提言、ネットワーキング

2014年度事業の3本柱

文化立国

1. 国際相互理解の促進と文化振興のための助成・支援

日本万国博覧会記念基金事業

アーツサポート 関西

アーティスト支援

- ・大阪文化祭賞
- ・アート・アセンブリー2014
- ・アートストリーム2014
- ・後援・協力事業

2. 伝統と創造

コラボレーションによるまちづくり

- ・平成OSAKA天の川伝説2014
- ・大阪城フェスティバル2014
 - ①大阪城ガラ / 吹奏楽の夕べ"River to Castle(仮)"
 - ②インターナショナル ワークショップ・フェスティバルDOORS

無形文化財の保護・育成

- ・今宮戎神社宝恵駕行事
- ・住吉大社御田植神事
- ・季刊雑誌「やそしま」発行
- ・「日本の文化に親しむ」公演・講演、シンポジウム等

広域的国際的文化力会議の開催

- ・関西・大阪文化力会議

関西ブランド発信

- ・関西ブランド
- ・広報活動
- ①「はなやか関西」との連携
- ②「KANSAI * OSAKA文化力」発刊
- ③関西国際空港での映像発信
- ④御堂筋でのバナー展開
- ⑤関西食文化の発掘と発信

3. 発掘と発信

調査研究・提言

- ・大阪上町台地フォーラム
- ・なにわ大坂100人選プロジェクト
- ・北前船昆布海道の研究

ネットワーキング

- ・21Cafe
- ・インテリジェントアレー専門セミナー
- ・協会事業への理解促進

1. 国際相互理解の促進と文化振興のための助成・支援

日本万国博覧会記念機構から基金事業(助成事業)を承継するとともに民間版アーツカウンシル「アーツサポート関西」を創設し、国際相互理解の促進と文化振興のための助成・支援を行う。また文化・芸術分野における優れたアーティストを表彰、紹介することにより人材の発掘、育成に取り組む。

(1) 「日本万国博覧会記念基金」事業(公益目的事業2)

※「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい「国際相互理解の促進に資する活動」や「文化的な活動」に対する助成金を交付するとともに、大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附金の拠出を行い、人類の進歩と調和に貢献する。

I. 助成事業

① 助成分野

ア 国際相互理解の促進に資する活動

- ・国際文化交流、国際親善に寄与する活動
- ・学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
- ・自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動

イ 文化的活動

- ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・芸術及び地域文化に関する活動

②平成26年度 助成予定額 約92百万円

<助成活動内容>

- ・実地調査 採択事業の中から年間20件程度の立入調査を行う。
- ・採択事業の事業終了後報告書の提出を受け、助成金を交付する。
- ・採択事業の申請書、報告書及び実地調査の内容を見て事後評価を行う。

③平成27年度 助成対象事業の募集

募集方法 財団ウェブサイトへの掲載や関係機関への募集要項送付等

募集時期 平成26年7月～9月

専門部会、審査会の開催 平成26年12月～平成27年2月

助成金交付決定 平成27年3月

II. 大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する事業

平成26年度 寄附予定額 約150百万円 (基金運用益の2分の1)

(※この基金は返還義務がない寄附金。)

(2)「アーツサポート関西」(公益目的事業3)

広く民間から寄附を集め、関西の文化・芸術分野で活動する個人や団体に助成することにより、地域文化の振興を図る。併せて、寄附文化醸成のための啓発活動や文化・芸術発展のための提言活動を行う。

I. 個別基金・一般基金の設置

公益法人としての税制上の優遇の制度を生かし、広く一般への周知を図り、マッチング機能強化等利用者の声を反映させた個別基金および広い利用を想定した一般基金の設置を進める。平成26年4月から実施。

経済界によるファンドレイジングパーティーを開催

平成26年5月予定

初年度寄附金 15百万円程度目標

(※これらの基金は返還義務がない寄附金として受入れる。)

II. 助成事業

- ①助成分野 ・美術、デザイン・音楽・演劇・ダンス
・映像、映画・伝統芸能・特定のジャンルにとらわれない複合的な文化、芸術活動その他の分野に助成する。

②平成27年度 助成対象事業の募集

募集方法 財団ウェブサイトへの掲載、関係機関への募集要項送付等

助成額 約10百万円

募集時期 平成26年9月～11月

③評価・審査委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会にて選考を行う。 平成26年12月

助成金交付決定 平成27年2月

Ⅲ. 寄附文化醸成のための活動

- ・支援組織「エンジェルクラブ(仮称)」を設立し、チャリティー・イベント等を通じてファンドレイズ活動を行う。

Ⅳ. 文化・芸術発展のための提案活動

(3) アーティスト支援

I. 大阪文化祭賞(公益目的事業1)

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに平成26年5月～6月(予定)に大阪府内で行われる公演を対象に「大阪文化祭」を開催する。参加公演の中から優れた成果をあげた個人または団体に賞を贈呈し、広く紹介する。当協会からは、表彰楯、副賞を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会

(大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

贈呈式 平成26年8月/9月

II. アート・アSEMBリー(公益目的事業1、その他事業1)

大阪文化祭賞受賞者をはじめ、音楽・芸術分野における優れたアーティストたちを経済人や有識者、報道関係者に広く紹介するための発表の場づくりと交流の場づくりを行う。過去2回、異分野のアーティストによるコラボレーションを実現。今年もアート・アSEMBリーならではのコラボレーション・共演を目指していく。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会

実施時期 平成26年秋

III. アートストリーム2014(公益目的事業1)

公募選考により、関西一円で活動する若手アーティストやクリエイターを発掘し、作品発表の場を設けるとともに、出版社や芸術関係者とのビジネスマッチングの場を提供することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。絹谷幸二氏(画家、大阪芸術大学)、蓑豊氏(兵庫県立美術館館長)らを審査委員に迎えて実施してきた審査員賞も過去3回の実績を踏まえ、アワードの正当性を強く打ち出していく。また「企業・ギャラリー賞」についても、昨年協力企業等が倍増した(H24年:7団体→H25年:13団体)ことを踏まえ、今年も「企業・ギャラリー賞」の一層の定着を図るとともにアートマーケットを行う。

主 催 アートストリーム実行委員会

(大阪芸術大学、大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪
21世紀協会(事務局))

実施時期 平成26年秋

IV. 後援・協力事業(その他事業1)

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援(後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等)を行い、当協会が発刊する「KANSAI*OSAKA 文化力」(後述)やホームページ、メルマガで広く活動を紹介、PRする。

2. 伝統と創造

大阪城・上町台地エリアを中心に、地域の歴史的な資産を活かした都市魅力をグローバルな観点から創造し、伝統に基づいた創造的な都市文化の魅力を広く発信する。併せて上方芸能文化の振興・発展を図る。

(1) コラボレーションによるまちづくり

I. 平成OSAKA天の川伝説2014（公益目的事業1）

昨年、高島幸次氏（大阪大学招聘教授）の指導のもと、「天の川伝説」の根幹となる「天の川」の由来・発祥を認識・共有した。この「天の川」の由来を強く意識して、7月7日の七夕の夜に大川・八軒家浜界限に“いのり星®”を放流し、大川の川面に「天の川」を出現させる。都市と河川の光による新たな夜間景観を創出し、大阪の新たな夏の風物詩とする。市民参加の都市景観づくりとともに、観光集客に貢献する。今年度は、当事業の海外展開も視野に入れて検討を進める。

主 催 平成OSAKA天の川伝説実行委員会
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局)

実施時期 平成26年7月7日

II. 大阪城フェスティバル2014（公益目的事業1）

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として、大阪城周辺で実施される様々なイベントの主催者を集め、合同の告知パンフレットを作成・発行する。

平成26年10月～12月にかけて開催される「大坂の陣400年・冬の陣」に呼応して、実施期間を10月末まで延長する。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会
(大阪府、大阪市、経済団体等、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

実施時期 平成26年7月～10月

① 大阪城ガラ/吹奏楽の夕べ

「大坂の陣400年・冬の陣」の賑いを盛上げるとともに、大阪ならではの芸術文化を、大阪城の景観とともに発信することを目的に、以下の事業を実施する。将来的には、海外からの集客増を考慮に入れ、国際的なイベントをめざす。

ア. オープニング・ガラ：

大阪城サマーフェスティバル2012に合わせて、大手門前広場で実施し、大きな成果が実証された『オープニング・ガラ』を、複数日にわたって実施する。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会
実施時期 平成26年10月中旬

イ. 吹奏楽の夕べ”River to Castle(仮称)”：

過去4回実施してきた『OSAKA水上音楽パレード』と、「西の丸ステージウィーク」で実施した『吹奏楽の夕べ』を合体させ、新たな高校吹奏楽の催しとして構成し、質の高い大阪の高校吹奏楽発表の場を提供していく。

主 催 関西・大阪21世紀協会
実施時期 平成26年10月初旬

② インターナショナル ワークショップ フェスティバルDOORS

(公益目的事業1)

古典芸能からポップカルチャー、最新アートなど、関西・大阪で活躍する多彩な文化人を講師に迎え、ワンコイン(500円)で体感できる体験型ワークショップを集中開催する。市民が志民となり、教え・学ぶ場を作ることにより、「文化を体験する」楽しさを提供し、市民の創造活動を誘発し、文化の裾野を広げ、大阪の文化力を高める。

昨年より留学生や海外居住経験者も講師に迎え、「海外の生活文化」も講座テーマとして取り入れており、今年も「国際相互理解」という観点から本テーマを強く推し進める。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会
(大阪市、LLPアートサポート、(公財)関西・大阪21世紀協会)
実施時期 平成26年7～8月

(2) 無形文化財の保護・育成 (公益目的事業1)

(財)上方文化芸能協会から承継された上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事を当協会の上方文化芸能運営委員会が実施、協賛し、当協会の従前事業との相乗効果や総合力を発揮するように展開する。また上方伝統行事については、記録映像をライブラリー化し、協会ウェブで情報発信する。

上方文化芸能振興事業	伝統行事等の伝承者の育成 「日本の文化に親しむ」の公演・講演、 シンポジウム等 季刊雑誌「やそしま」の発行
上方伝統行事	今宮戎神社宝恵駕行事(平成27年1月) 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財](平成26年6月)

3. 発掘と発信

関西・大阪が果すべき文化の諸課題を探り、広く有識者を交えて討議し、その成果を提案し発信する。また、古代より日本の中心地として栄えた上町台地エリアの歴史的資産や伝統行事の発掘や研究を深める。また広域的な地域ブランドの活動と連携し、引き続き関西・大阪ブランドの発掘・発信・活動を継続する。

(1) 広域的国際的文化力会議の開催

I. 関西・大阪文化力会議 (公益目的事業1)

国内外の有識者(経済界、行政、研究機関ほか)により、人類の進

歩と調和の理念を具体化する方策をさぐり、関西の果たすべき役割を文化立国の視点で議論を深め提言を行う。

主 催 (公財)関西・大阪21世紀協会、大阪国際フォーラム
実施時期 平成27年3月

(2) 関西ブランド発信

I. 関西ブランド

① 「はなやか関西」との連携（公益目的事業1）

「はなやか関西」事業（事務局 国土交通省近畿地方整備局）や関西広域連合と連携し、関西が誇る文化資産、魅力的なブランド資源を発掘・発信するために引き続き取り組む。

② 「KANSAI*OSAKA文化力」の発行（公益目的事業1）

関西・大阪のブランド力向上を目的として、当協会の様々な取り組みをはじめ、芸術・芸能、産業、学問、祭事など、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を紹介するブランド誌を発行。

公立図書館や大学、高校、公的機関等へ広く配布。

発行回数 年3回

③ 関西空港での映像発信（公益目的事業1）

関西の四季折々の魅力（景観やお祭り催事、季節の風物詩など）を映像に収めた、当協会が制作する四季の関西ブランド映像集

「Welcome to KANSAI～四季の関西・大阪の魅力（季節の景観、風物）～」を関西国際空港をはじめとした公共スペースを活用して発信し、国内外から関西に訪れた観光客に、関西の魅力を訴求する。

④ 御堂筋でのバナー事業展開（収益事業）

当協会が保有する街路灯のバナー取付具を活用し、御堂筋や長堀通り等の市道のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、

都市景観の向上を図る。

⑤ 関西食文化の発掘と発信（公益目的事業1）

関西が誇るスイーツ、食文化をテーマにコンテンツを制作。一部メディアと連携した番組制作を行い、ウェブマガジン等への掲載により、関西の食文化、文化資源の情報発信を行う。

II. 広報活動（公益目的事業1）

一般向けに毎月広く配信する「メールマガジン」や「協会だより」を活用し、協会の事業の取り組みや協会が後援するさまざまなイベントをタイムリーに情報発信する。

また、当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化する取り組みを行う。

(3) 調査研究・提言

I. ミナミ上町台地調査・研究（公益目的事業1）

大阪、上町台地の歴史や伝承を探り、伝えられてきた催事に触れ、実地調査を行い、その歴史的役割や大阪のアイデンティティを探る。今年度は「堺市内」を重点地域としてフィールドワークを行う。

実施時期 平成26年春から秋にかけて4回程度見学・探訪実施予定

II. 「なにわ大坂100人選」プロジェクト（公益目的事業1）

古代から近世までの「なにわ大坂」で活躍した100人を選抜し、時代背景を含めた情報を収集し、蓄積を図る。活動の中で、古代日本民族発祥の地である「なにわ大坂」に受け継がれてきた伝統や謂れ、伝承を確認し、「日本のアイデンティティ」の確立を目指す。プロジェクトは3年かけて実施し、最終年に報告書の出版を目指す(今年度は2年目)。

実施時期 平成25年度～平成27年度

Ⅲ．北前船昆布海道の研究（公益目的事業1）

江戸時代に大阪から北海道まで、日本海と瀬戸内海を往復し、大阪の経済発展の原動力となるとともに各寄港地の文化に大きな影響を与えた北前船。北前船寄港地フォーラム等を通じて、北前船の歴史的遺産を生かした「広域観光」への取り組みについて検討・調査を行う。

（4）ネットワーキング

I．21cafe（その他事業1）

関西・大阪で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを生み出す場を創出するとともに、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 通年（年4回）

Ⅱ．社会学連携事業インテリジェントアレー専門セミナー（公益目的事業1）

特定非営利活動法人「関西社会人大学院連合」と連携し、同連合が開催する社会人向け専門セミナーに、当協会が冠講座を提供し、文化による人材の育成及び地域活性化をテーマに3ヶ月間の集中講座を実施する。

主 催 NPO 法人関西社会人大学院連合

実施時期 平成27年1月～3月

Ⅲ．協会事業への理解促進（その他事業2）

賛助会員向けの講演会や交流会・協会事業のPRを行い、協会事業への理解を深める。